

優先課題毎の目指す姿



優先課題	目指す姿
<p>安心安全なまちづくりへの貢献、 住みやすいまちづくりの推進</p>	<p>当社は、事業を通じ、インフラ整備による強靱で住みやすいまちづくり、高品質の施工による住み続けられるまちづくり、メンテナンス活動による安心して暮らせるまちづくりに寄与します。また、地域の守り手として、地震、水害、大雪などさまざまな自然災害から地域住民や従業員とその家族の生活を守る企業であり続けます。産官学連携の要として、魅力ある取り組みを地方から世界に向けて継続的に発信し、地域創生のロールモデルであり続けることを目指します。</p>
<p>技術革新への継続的な挑戦</p>	<p>当社は、「変化を楽しもう。」というコーポレートメッセージのもと、人類、社会の進化・発展に貢献するため、技術の開発・導入を積極的に推進します。建設×IT、ICT浚渫のリード企業として建設業界全体の働き方改革と生産性の向上のために建設DXを推し進め、担い手不足を解消し、業界の持続的な発展を牽引します。前例主義にとらわれず、常に新しい発想を持って課題解決に向けたチャレンジをし続ける企業となります。</p>

優先課題毎の取り組み・ プロセス指標・目標



優先課題	取り組み		プロセス指標	関連する取り組み	現状値	2030年目標数値	
安心安全なまちづくりへの貢献、住みやすいまちづくりの推進	既存	S-1	強靱な都市インフラ(河川・除雪・舗装)整備への取り組みの推進	お客様満足度 工事評点向上(民間へのアンケート)	全て	100% (受注金額1,000万円以上)	
		S-2	除雪作業を通じた地域経済活動、安心・安全な暮らしへの貢献	All-sightの契約件数	S-1~4	年間10件	年間5,000件
		S-3	地震、水害など災害発生時の復旧対応(体制維持、体制強化)	自治体、民間企業、教育機関連携協定数	S-5,6	年間9件	累計25件 (現状連携継続9件 +新規16件)
		S-4	地域とのつながり(現場見学、学校での授業、現場からの積極的な情報発信)の継続推進	メンテナンス(除雪を含む)のサブスクの提案件数	S-7,8	年間1件	累計17件 (既存1件+新規16件)
	新規	S-5	地域との包括連携協定の推進(Microsoft Base Niigata-Kamo) →デジタルの領域でモデルオフィスとして、地方創生、地域活性化を実現する	除雪業務効率化(パトロール無人化等)件数	S-9,10	年間0件	年間5件
		S-6	デジタル分野での産官学連携の強化(Holostruction、All-sighte) →教育領域で教育機関と連携協定を締結し、技術の向上、担い手不足の解消など、未来あるものへの投資を推進する	現場でのロボット導入トライアル件数	S-9,13	0件	累計8件
		S-7	メンテナンス事業の強化 →社員のメンテナンス事業に関わる資格取得を後押しする(取得者数アップ)	Holostruction契約件数	S-10,12	年間10件	年間5,000件
		S-8	サブスク事業化の推進	NETIS又はMade in 新潟への新規登録件数	S-13	NETIS:1件 Made in 新潟:3件	NETIS・Made in 新潟 累計10件
技術革新への継続的な挑戦	既存	S-9	ICT活用工事の拡大、ICT施工による施工精度向上				
		S-10	建設工事におけるDX化(Holostruction、IcT)の推進 →現場作業の省力化と生産性の向上を実現する				
		S-11	ウェアラブルカメラを活用した安全活動の推進				
	新規	S-12	浚渫技術の強化(ICT化、Holostruction活用、人材育成・確保) →浚渫工事にて新しい技術を積極的に取り入れ、現場にて社員にOJTを実施する				
		S-13	ロボット、産業用ドローンの活用推進 →現業領域で、施工、測量をロボットにて代替し、効率化とリスクの低減を実現する →内勤領域で、事務処理、庶務をRPAを使い効率化する				
	S-14	積極的な3Dデータの現場利用、BIM/CIM、XRなどの現場活用の普及 →社員に対し3Dデータ・新技術の教育を実施し、現場にて使用目標を定め、使用を推進する					